

## 留学報告書

北海道教育大学旭川校

2年 国語教育専攻

山田 翼

私は、2月9日から3月13日までオーストラリアにあるシドニー工科大学の附属語学学校である INSEARCH に通っていた。私は、現在英語の教員免許の取得中で、以前から一度海外に行ってみたいと思っていた。すると、今年からオーストラリアでの短期留学プログラムが開始すると聞いたので、応募した。オーストラリアに応募した主な理由は、留学期間中現地は夏で、快適に勉強と観光が出来ると思ったからだ。本報告書では、語学学校での学習内容、オーストラリアでの生活、食事、観光について書いていく。

INSEARCH に入学して直ぐ、パソコンを使ったテストを受けた。そのテストの結果で、クラス分けがされ、私は、アカデミックのレベル4だった。今回の短期留学には日本から約5大学来ていたが、大体皆アカデミックの2～5のレベルに分けられていた。因みに、アカデミックのレベル5のBを修了すれば、シドニー工科大学の2年生に編入する事が出来る。INSEARCH では、主にITに関する事を学習した。SNSの危険性や、最近日本で話題になっているタブレットを使用した育児の是非、インターネットの情報の正確性の確認方法、実際に確認した情報を情報源にしたレポートの執筆など、理系大学への進学準備となる授業だったと感じた。最後の学習事項に関しては、今回の学習指導要領の改訂で新設された「引用の仕方や出典の示し方、情報の信頼性の確かめ方など、情報の扱い方に関する事項」に該当し、この時期に学習出来て良かった。また、授業内容で一番印象強かった内容は、タブレットを使用した子育ての是非についての授業の際に出て来た「デジタル認知症」についてである。この症状は、デジタル機器を長時間使用する事で発症し、記憶障害や、言語障害、理解力・判断力、思考力の低下などが挙げられており、主に脳へ障害をきたし、脳が成長途中の若い人ほど罹りやすいと言われている。若ければ若いほどこの病気には罹り易い事や、学習能力に関する能力が低下する事を考えると、タブレットを使用した育児は非常に危険なものだという事がよくわかった。

オーストラリアでは、とても快適に生活を送ることが出来た。気温は大体25～30℃で、湿度も丁度良く、日本の夏のような気候だった。しかし、陽射しの強さが日本の比ではなく、留学中2、3回程最寄りの海に行ったが、皮膚

が陽射しに耐えられず、一時間で帰って来た。一時間ほどしか海辺の砂浜にいなかったが、家に帰ってシャワーを浴びると絶叫するほど痛かった。オーストラリアに滞在している時は、絶対に紫外線対策をした方が良さだろう。

オーストラリアの食事はあまり私の口には合わなかった。どれも味付けが濃く、塩気が強かった。また、オーストラリア独自の食文化はあまり無かったような気がする。飲食店を見ても、マックやサブウェイ、ケンタッキーなどのファストフード店、中国料理や韓国料理、回転寿司などの日本料理店など、様々な国の料理店があったが、オーストラリアらしい店を見かける事は殆ど無かった。また、私のホームステイ先の家族はラオス人で、いつもタイ料理ばかり食べていた。オーストラリア独自の食文化と思われる料理の中では、現地のビールとカンガルー肉がとても美味しかった。ビールは味が濃いというよりはキレのあるタイプのビールで、喉に大量に流し込める爽やかな味だった。カンガルーのステーキは、脂身がほとんどなく、とてもあっさりしており、舌触りは生のマグロに近いような感触がして、私はとても気に入った。出来ればよくわからないソースではなく山葵と醤油でシンプルに食べたかった。とは言え、カンガルーを食べるといふ貴重な体験が出来たのでよしとする。

滞在中は、ほぼ毎日いろんな所買い物に行き、有名な観光スポットに見に行ったが、飽きることも無くとても楽しかった。生のコアラとカンガルーに会いに行くために動物園には二度行った。一度目は、タロンガ動物園を訪ね、様々な動物が見られて楽しかったが、コアラを間近に見ることが出来なかった。なので、コアラと触れ合うためにワイルドライフ・パークへ行った。二度目の挑戦で無事コアラと触れ合う事が出来た。様々な観光をした中で、私が一番記憶に残っているのは、やはりマルディ・グラだと思う。マルディ・グラとは、シドニーで行われる世界最大級の LGBT の祭典である。去年の前期の「異文化理解 I」という授業で、この祭典について発表しており、留学に行く前から一番楽しみにしていた観光だった。私は、この祭典の中でも、パレードの日に行こうと決めパレードのスタート地点付近で観客列の一番前に陣取る事に成功し、祭典の始まりの瞬間に立ち会う事ができた。パレードの楽しさは、想像を遥かに超え、どんなに緻密にこの祭典のことをこの報告書で物語っても、あの楽しさは伝わらないので、あまり説明はしない。興味がある方は、是非ともこの祭典に行ってみて欲しい。

最後に、私はこのプログラムに行くことが出来て良かったと思う。言語能力

の向上云々よりも、初めて海外に行くことができ、海外で一ヶ月生活した事がとてもいい体験になったと思う。留学中、私は全力で学び、遊んだ。一日も無駄に過ごすことは無かったと思う。強いて言うなら、日本にいる時にもう少しリスニングとスピーキングの訓練をしておけば更に実りのある留学になったと思う。コミュニケーションが出来なかったわけではないが、短いやりとりばかりになってしまい、世間話や語り合う事は無く、内容の薄い会話しかできず、勿体なかった。これから留学を考えている方は、留学先のテレビ番組などで現地の発音やスラングに耳を慣らす訓練をしておくの良いと思う。



(カンガルーの肉)



(マルディ・グラ)